

ニカラグア定期報告（2015年5月）

2015年6月
在ニカラグア日本大使館

【要旨】

〈内政・外交〉

外交では、9日、モスクワで開催された大祖国戦争勝利70周年式展に、アビレス国軍司令官が出席する等、軍事面を中心とする対ロシア協力関係が維持される一方、対米関係では、オルテガ大統領は、国際司法裁判所の判決を米国が不履行であることを批難した。但し、米軍の病院船のニカラグア寄港について前向きな発言をした。

〈経済〉

31日、両大洋間運河計画の環境F/Sが運河委員会に提出され、関係者によると、1ヶ月をかけ特別委員会による同F/Sの審査が行われた後、7月初旬には運河委員会に最終判断が委ねられる。その他、CEPAL発表のラ米諸国の雇用状況比較では、ニカラグアの雇用者の増加割合が5.3%と周辺国に比べ高い結果となった一方で、未だ世論調査からは失業が主要課題となっていることが明らかとなった。

【主な出来事】

1 内政・外交

(1) 対ロシア関係

9日、アビレス国軍司令官は、モスクワで開催された大祖国戦争勝利70周年記念式典に出席し、その後、ショイグ露国防大臣と会談した。右会談では、両国の軍事協力及び友好関係等について協議した。その他、ゲラシモフ露国防副大臣は、両国の関係につき、「ロシアでのニカラグア軍の研修は、ポジティブな結果を示しており、ロシアは、ニカラグア国軍に対する軍備支援を引き続き行う。両国関係は緊密化しており、国際場裡における団結に基づいた共通の視点を有し、相互に支援している。2014年7月のプーチン露大統領のニカラグア訪問は、ロシアにとり、ニカラグアがラテンアメリカにおける重要なパートナーであることを物語っている。」と述べている。

(2) 対米関係に関するオルテガ大統領の発言

18日、サンディーノ生誕120周年記念式典において、オルテガ大統領は対米関係に関して発言した。国際司法裁判所（ICJ）が、（80年代の内戦におけるコントラへの米国による資金・武器供給の合法性が論点となった事案において、）米国に対し、170億米ドルのニカラグアへの賠償命令を下したことについて、オルテガ大統領は、「米国からの賠償は未だ実施されていない。オバマ大統領が勇気を持ってキューバへの制裁を解除する決定を下したように、いつかニカラグアへ米国が賠償する日が来るだろう。国際法を順守する国家として重きを置いている米国が、ICJの判決を尊重しないことは不名誉である。」

と述べた。一方、オルテガ大統領は、18日～25日、米軍の病院船がニカラグアに寄港していることに関しては、「カリブ海側に大きな船舶が停泊しているが、同船舶は、大砲も非搭載、海兵隊も乗船していない非武装の病院船である。オバマ政権によるニカラグアに対する前向き（な評価）と敬意の表れである。」と述べ、両国関係のあるべき姿であると強調した。

2 経済

（1）両大洋間運河計画における環境F/S報告書の提出

5月31日、両大洋間運河の建設コンセッションが付与されているHKND社は、同運河プロジェクトの環境・社会インパクト調査報告書を運河委員会に提出した。右F/Sの受領時には、ラウレアノ・オルテガ・ニカラグア投資振興機構顧問兼運河委員会メンバー、コロンネル運河庁長官、フアナ・アルヘニャル天然資源・環境大臣、エドウィン・カストロ与党FSLN院内総務、マヌエル・ラカヨERM社（環境F/S実施企業）調査員及びシュウ・チャンバオHKND社ニカラグア事務所代表が参集した。タラベラ運河委員会広報官によると、同報告書は、6月の1ヶ月をかけて天然資源・環境省を筆頭とする複数機関によって構成される委員会によって審査され、その後、7月初旬には運河委員会に最終判断が委ねられる。

（2）正規雇用者の増加

国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）発行のラテンアメリカ・カリブ諸国雇用景気報告書によると、ニカラグアにおける2014年の雇用者（社会保険加入ベース）の増加割合は域内で最も高い5.3%となった。周辺諸国と比較すると、コスタリカは1.5%、エルサルバドルでは2.2%、グアテマラでは1.2%と大きく水をあける結果であった。同報告書によると、近年、ニカラグアは高い正規雇用増加率の維持を見せている。他方で、アラナ元中銀総裁は、「正規雇用者は他国に比較し増加しているが、十分ではない。非正規雇用者数は更に増えている。正規雇用を増やすためには投資誘致が必要であるが、これまでの投資はエネルギー分野や通信分野など多くの労働力を要しない分野に偏っており、今後は観光や農産加工業などの多くの人手を要する投資を誘致せねばならない」と指摘した。

（3）ニカラグアの主要経済課題

CID-Gallup社が実施した最近の世論調査によると、回答者の47%が失業または価格高騰が生活の質改善の障害となっていると答えており、右2点はニカラグア国民が抱える主要課題である。本年1月までの社会保険加入者は320万人いる労働人口のうち74万人にすぎない。また、中銀によると、4月時点での基礎バスケット（53品目）価格は、平均給与が8,500コルドバ（約319米ドル）であるのに対して12,000コルドバ（約444米ドル）である。同調査結果では、その他の課題として、飲料水の不足や不適切な居住環境、不十分な医療サービス等が挙げられた。

<主要経済指標>

	2015 年			2014 年	2013 年
	5 月	4 月	3 月		
インフレ率（前年同月比）	5.2%	5.7%	5.9%	6.5%	5.7%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	△188.2	△2,818.5	△2,792.3
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	未発表	261.0	2,634.5	2,400.7
輸入 CIF(百万ドル)	未発表	未発表	449.2	5,452.9	5,193.0
海外送金（百万ドル）	未発表	94.4	106.2	1,135.8	1,077.7
外貨準備高(百万ドル)	2,447.1	2,375.6	2,332.8	2,276.2	1,993.0

（出典：ニカラグア中央銀行）